

令和5年7月11日

雲南市長 石飛厚志 様

雲南市上下水道料金等審議会
会長 木村守登

水道料金の見直しについて（答申）

令和4年11月29日付水総第202号で諮問がありましたこのことについて、下記のとおり答申します。

記

1 答申事項

今回の水道料金の見直しについては、水道事業の健全な運営を図る観点から料金の引き上げが妥当と判断する。

2 理由

- (1) 雲南市の人口が減少する中、節水意識の高まりや節水機器の普及により、今後も給水量が減少していくことが予想される。
- (2) 「安全な水を安定供給する」という水道事業に課せられた使命を果たすためには水道施設の計画的な整備や安定した財源の確保が不可欠である。
- (3) 現在の水道料金は平成29年度から令和3年度までの5年間で見込まれており、すでに料金算定期間を過ぎ、適正な料金の検討が早急に必要となっている。
- (4) 原材料費やエネルギー価格の上昇などによって物価の高騰が続く状況の中、施設の維持管理経費や企業債償還金等に多額の財源が必要である。水道事業者での経費削減努力には限界があり、現状のままでは令和7年度以降、収支が急激に悪化する見込みであり、健全経営が難しい状況になると判断する。
- (5) 水道利用者への安心・安全な水道水の供給という使命に応えることが最も重要であり、ライフラインの安定した運営が、定住対策、産業振興にも影響する。

2. 付帯意見

- (1) 水道料金改定に伴う市民等への周知については、広報誌などでその理由や内容を含め、分かりやすい周知に心掛けること。
- (2) 雲南市では令和3年7月の豪雨災害によって、長時間の断水が発生した。近年全国でも頻発している自然災害に対応できる水道施設となるよう、計画的な施設の更新や耐震化を図ること。その際、国や県へ有利な財源等の確保を働きかけ、負担の軽減に努めること。
- (3) 今後は施設の更新・維持管理費の増額が見込まれるが、施設の効率的な運用や経費の見直し、島根県の水道事業広域化推進プラン作成への参加などに積極的に取り組み、水道事業の安定した運営に努めること。
- (4) 基本水量について今回廃止とされたが、使用状況などを考慮して料金体系のあり方についても今後検討すること。

以上